

いずもぎき

議会だより

第79号

2013
平成25年4月22日



3月定例会

もくじ

- 3月定例会 2
- 出雲崎町議会基本条例制定 5
- 全員協議会 7
- 一般質問（6人が町政をただす） 8
- 町民の声「子供達に支えられて」 14

51億7850万円 (7670万円減)

前年度比 0.9% 3100万円減

前年度比 2.3% 4570万円減

一般会計の主な事業（新規62事業を予算化）

1. 障害者福祉サービス費	1億3190万円
2. 国民健康保険事業特別会計へ	3962万円
3. 介護保険事業特別会計へ	9785万円
4. 保育実施委託料	1億 206万円
5. 児童手当	6360万円
6. 子どもの医療費助成	1071万円
7. 資源ごみ分別回収委託料	1556万円
8. 一般ごみ収集運搬委託料	1621万円
9. 廃棄物処理事務委託料	3350万円
10. 観光用公衆便所設置工事（天領の里・良寛記念館）	6820万円
11. 町道新設改良舗装工事（7路線）	8760万円
12. 海岸背後地整備工事（住吉町）	2000万円
13. 消防事務委託料	1億1705万円
14. 防災行政無線施設整備工事	1億 650万円
15. 通学バス運転業務・代行業務委託料	2214万円

平成25年度 当初予算

一般会計 32億5300万円
特別会計 19億2550万円

国民健康保険会計

5億8800万円（100万円減）

- ・保険給付費 3億9524万円
- ・後期高齢者支援金 6579万円
- ・共同事業搬出金 7343万円

後期高齢者医療会計

6100万円（80万円増）

- ・後期高齢者医療広域連合納付金 5834万円

介護保険事業会計

7億1030万円（380万円増）

- ・保険給付費 6億8453万円
- ・地域支援事業費 1575万円

簡易水道事業会計

1億7670万円（3200万円減）

- ・水道管理費 3809万円
- ・水道施設費 8729万円
- ・公債費（返済金） 3236万円

特定地域生活排水処理事業会計

1970万円（50万円減）

- ・浄化槽費 814万円
- ・公債費（返済金） 1080万円

農業集落排水事業会計

1億5580万円（320万円減）

- ・集落排水施設費 4434万円
- ・公債費（返済金） 1億272万円



観光用に待たれる改修（良寛記念館公衆便所）

住宅用地造成事業会計

3740万円（3380万円増）

- ・団地造成事業費 62万円
- ・諸支出金（一般会計へ返済） 3640万円

下水道事業会計

1億7660万円（4740万円減）

- ・公共下水道管理費 4248万円
- ・公債費（返済金） 1億1477万円

3月定例会

(会期 3月6日～15日 10日間)

* 3月定例会で決まった補正予算 *

△は減額

会 計		補 正 額	補正後の予算額
一	般 会 計 (第6号)(専決)	215万円	33億6183万円
一	般 会 計 (第7号)	1億2553万円	34億8736万円
特 別 会 計	国民健康保険事業 (第3号)	1020万円	6億3828万円
	介護保険事業 (第3号)	△ 1454万円	7億 310万円
	後期高齢者医療 (第1号)	94万円	6114万円
	簡易水道事業 (第2号)	1394万円	3億2964万円
	特定地域生活排水処理事業 (第1号)	△ 20万円	2000万円
	農業集落排水事業 (第1号)	△ 100万円	1億5800万円
	下水道事業 (第1号)	△ 380万円	2億2020万円
	住宅用地造成事業 (第3号)	1746万円	2042万円

定例会では、平成24年度補正予算並びに平成25年度一般会計・特別会計予算、議会基本条例の制定、条例の一部改正、指定管理者の指定、過疎計画の一部変更など議案37件が提出され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決、承認、同意しました。

特別会計補正予算

主な歳出 (△は減額)

- 国民健康保険事業 (第3号)
 - ・一般被保険者療養給付費追加 …… 1723万円
 - ・一般被保険者高額療養費追加 …… 500万円
 - ・保険財政共同安定化事業搬出金減 … △1135万円
- 介護保険事業 (第3号)
 - ・地域密着型介護サービス給付費減 … △1200万円
 - ・地域密着型介護予防サービス給付費減 … △110万円
 - ・特定入所者介護サービス費追加 …… 138万円
- 後期高齢者医療 (第1号)
 - ・後期高齢者医療広域連合納付金追加 …… 94万円
- 簡易水道事業 (第2号)
 - ・管路工事追加 …… 2320万円
 - ・管路工事設計業務委託料減 …… △303万円
 - ・浄水場整備工事設計業務委託料減 … △230万円
- 特定地域生活排水処理事業 (第1号)
 - ・施設修繕料減 …… △10万円
- 農業集落排水事業 (第1号)
 - ・施設維持修繕工事減 …… △100万円
- 下水道事業 (第3号)
 - ・消費税減 …… △380万円
- 住宅用地造成事業 (第3号)
 - ・一般会計繰出金 …… 1810万円
 - ・団地宣伝広告業務委託料減 …… △30万円

一般会計補正予算

主な歳出 (第6号)

- ・灯油購入費等助成 …… 205万円

主な歳出 (第7号)

- ・ふるさと出雲崎応援基金積立追加 … 670万円
- ・除雪委託料追加 …… 370万円
- ・道路ストック総点検業務委託料 …… 230万円
- ・除雪機械追加 …… 3000万円
- ・道路新設改良舗装工事追加 …… 8980万円
- ・橋りょう維持修繕工事 …… 1200万円
- ・全国瞬時警報システム多様化工事 … 401万円
- ・良寛記念館運営基金積立 …… 1200万円

人 事 案 件

固定資産評価審査委員の選任

平成25年3月22日から3年間

山 田 廣 行 (沢田)

出雲崎町議会基本条例制定

目的

この条例は地方自治の本旨に基づき、出雲崎町議会に関する基本事項を定め、もって議会が情報の公開と町民参加を基本とした活動を行うことにより、出雲崎町の持続的で豊かなまちづくりの実現に寄与することを目的とする。

主な内容

◆町民と議会の関係（町民参加）

- ・平日の夜間や土・日の議会の開催
- ・議会報告会の開催
- ・町民からの申し込みによる会議の開催
- ・議会モニターの設置

◆議会と町長との関係

- ・町長は議員の質問に対して反問することができ

◆災害時の対応

- ・災害が発生した場合の連絡会議の開催
- ・人命救助等の講習会への積極的参加

基本条例制定の経緯

議会では、平成18年から先進自治体への視察を重ね、平成24年6月に議会改革検討会を設置し、3月定例会において議員発議により全会で制定しました。

当町をとりまく環境は刻々と変化しており住民のニーズも多様化する中で、議会の責任は、益々大きくなっていくと考えられます。今後、出雲崎議会が町民の付託に応えると共に、町民福祉の向上に全力を尽くすことを約束するものです。

可決した条例改正など

主なもの

◆新型インフルエンザ等対策本部条例

・緊急事態宣言が出された場合、対策本部を設置して対策を実施するもの

◆町職員の特殊勤務手当に関する条例

・家畜伝染予防法に、定める家畜の、と殺家畜の、死体焼却・消毒等の作業を行った場合の手当て

◆町営住宅条例の一部改正

・町営住宅の整備基準の追加

◆町道路の構造の技術的基準を定める条例制定

・道路法の一部改正に伴ない、町道に認定した道路の基準等を定めるもの

◆指定管理者の指定

・休憩所心月輪を「休憩所心月輪管理組合」に指定するもの

議会のしごき（主なもの）

（平成25年1月～3月）

- | | |
|------|-------------------------|
| 1・9 | 第1回全員協議会 |
| 30 | 第1議会運営委員会 |
| | 第2議会運営委員会 |
| 2・19 | 新潟県町村議会議長会第64回定期総会（新潟市） |
| 22 | 第2回全員協議会 |
| 27 | 第3議会運営委員会 |
| 3・6 | 第4議会運営委員会 |
| | 3月定例会召集日 |
| 8 | 社会産業常任委員会 |
| | 総務文教常任委員会 |
| 11 | 定例会2日目（一般質問） |
| | 議会報特別委員会（議会だより79号） |
| 12 | 予算審査特別委員会 |
| 15 | 第5議会運営委員会 |
| | 定例会最終日 |
| | 第3回全員協議会 |
| | 現地調査（やまや団地） |
| 26 | 議会報特別委員会（議会だより79号） |

予算審査特別委員会

3月定例会は平成25年度予算を審議・決定する定例会です。委員会で審査された主な内容を報告します。

議員 バス停の標識作成費96万円の内容と管理は。

答 1基16万円程度で6基予定。出雲崎駅前、良寛記念館入口、良寛堂前などに設置します。管理については町が行います。

議員 総合計画審議会委員報酬が10人分で10万円計上されているが審議内容などについて伺います。

答 年2回の会議を予定しております。計画に含まれる25年度予算の概要説明と前年度の総合計画に基づく実績についての検討など審議いたします。

議員 徴税費の庁用車購入費95万円について、入替える車は何万キロ、何年使用したのか。

答 今の軽自動車は9万1000キロ、購入は平成16年です。

議員 どの家庭でも10万キロ未満で乗換える人はいないと思う。私は15年で19万キロ使用した。我慢できるものは一年でも二年でも我慢した方がいいと考えます。

職員研修の内容は

議員 職員研修講師謝金で5万円とあるが研修内容について

答 毎年、幅広い研修をしたいと考えています。昨年度は2月に接遇、マナー研修を行っております。

過去にはメンタルヘルス、メタボ関係を実施。議員からの提案があれば、お聞かせください。

議員 町地方バス路線維持費補助金で10万6000円

とあるが前年より減額されているが。

答 柏崎へのバス路線は昨年より、刈羽村の「プラント5」経由に路線変更され、若干利用が好転しており、25年度から国庫補助の対象路線となる予想のため、関係3市町村の負担額が少なくなります。

タクシー券利用率は

議員 高齢者福祉タクシー券助成598万円が計上されている。タクシー券はお年寄りは大変喜ばれているが、利用率などに問題はないのか。

答 該当は75才以上の車の運転をされない方、免許を持っていない方に交付され、500円のチケット40枚で年間2万円を、バイクのみ運転の方には半分の1万円を交付しております。

今年度は450人程度で利用率65%位の見込みで予算計上しております。利用率アップのため、1回の使用枚数制限の変更など早急に見直しを行いたい。

議員 24年度から開始した認知症予防教室委託料で33万9000円とある。社会福祉法人に委託して実施とあるが実績、利用率の状況は。

答 初年度は町が実施主体となり、当初20人予定が実際は15人程度の参加で実施しました。

今年度は送迎車なども考えたい。教室の実施は社会福祉法人に委託し、最初と最後の成果の評価は医療機関に依頼する関係で町が行います。

議員 児童遊園借地料36万2000円計上されているが、設置箇所はどこか。また事故の保障は総合保障保険が該当するのか。

答 児童遊園は八手（船橋）と現在使用禁止にしている大門の2ヶ所です。事故のあった場合は、事故の原因が町の施設管理に瑕疵があった場合には、

総合賠償保険で補償されます。

議員 ウオーキングロード距離表示シート設置料52万円について、内容を教えてください。

答 起点から何メートルという、距離表示シート5枚程度を路面に張るものです。

地籍調査委託料の内容は

議員 地籍調査資料等作成委託料25万円計上されているが長期にわたり、時間とお金がかかる問題であります。内容と他町村の進捗状況は。

答 国土調査を実施するため、全体の計画を立てるための業務委託であります。県内で数市町村が完了しており、長岡市は旧山古志村が合併前より実施中ですが、他の地区ではやっております。

議員 負担は5%くらいで実施できると思いますので、強かに推進してもらいたい。

議員 図書データ通信料やシステム関係が合計で226万円で、図書購入費110万円の倍以上である。改善はないのか。

答 図書に関しては、図書館流通センターという専門業者が行なっているが、他に代わる業者が見当たらない。業者と交渉して努力してまいります。

◎農業集落排水事業特別会計

議員 歳入に太陽光発電料35万円計上されているが、設置場所と発電能力は。

答 大寺の赤坂山処理場屋根にパネル42枚を設置して7・56キロワットの発電能力です。また簡易水道の上中条浄水場屋根にも設置しており、16万円の売電を見込んでおります。

全員協議会

主な質疑について報告いたします。

第1回 1月9日開催

◎ふるさと出雲崎応援寄附金（ふるさと納税）について

総務課長 1月7日現在、寄附金は11件、770万円（昨年は690万円）が納入された。

◎町内施設の利用について

議員 町役場職員は町内飲食店の利用が少なく、町外を利用している。地元活性化のためにも町内のお店を利用してほしい。



良寛記念館の充実を

第2回 2月22日開催

◎良寛記念館運営基金の創設等について

教育課長ほか 3月1日に記念館は町に完全移管する。財団法人良寛記念館より町へ土地、建物、図書、良寛遺墨572点と財団清算による残金が寄付される。

町では良寛記念館の充実と円滑な事業運営を行なうため基金として、1,200万円の積立を予定。財源として財団からの寄附金に一般財源を付け足す。

◎ふれあいの里入浴時間延長について

議員 町民から利用時間の延長の要望があり、利用率アップのためにも検討すべきである。

保健福祉課長 夏期は午後7時まで延長しているので大いに利用してもらいたい。

第3回 3月15日開催

◎公共施設の屋根貸し太陽光発電事業について

総務課長 町保健福祉総合センター（ふれあいの里）屋根を太陽光発電に貸し出しする。

使用期間20年。設置面積1,030㎡。1㎡当年間100円で年間10万円の使用料となり、蓄電装置を設置する。

議員 強風、雪対策は問題ないのか。

総務課長 設置業者が管理について責任を負う。

◎下水道水酸化率について

建設課長 平成24年3月31日現在、水洗化人口率は92・91%で平成23年度より若干アップしている。



太陽光発電 ふれあいの里屋根



小林泰三議員が1月12日にご逝去されました。

昨年春より闘病生活をしながら、議員活動に取り組んでおられました。残念ながら再起はなりません。気さくな人柄で昭和48年6月の初当選以来、24年11ヶ月余り、議員として活躍されました。ご冥福をお祈りいたします。

おたずねします お答えします



中川 政 弘 議員

人口減少と町村合併

人口減少問題

質問 長年にわたって、過疎対策・人口減少対策がなされてきました。人口を増やすことは容易ではありませんが、今後どう対処されるのか。5年後・10年後はどうなるのかお聞きします。

答弁 町道の整備、下水道の普及、高齢者対策、中でも宅地分譲・造成に力を入れてきました。住んで良かったと思われる町作りに努力してまいります。

質問 出生者から死亡者を引く自然動態は例年50人〜70人のマイナスです。転入から転出を引いた社会動態は大きなマイナスにはなっています

ん。宅地造成が効果を現しているものと思います。人口減少問題では、宅地造成は極めて有効な政策ですが、そこで旧役場跡地（岩船町）はどう活用するのかお聞きします。

答弁 石井町の若者誘導住宅は、人口増に寄与し大変有効でした。旧役場跡地は、皆さんのご意見を基本に、早い時期に有効活用していきます。海岸地区においては、宅地分譲を重点的に進めていきます。

合併はしない

質問 10年後、人口は約4千人強だと思われれます。私は、町村合併をせず、立派に単独町村として存続できると思います。しかし、町民は、「人

口が減少して、単独でやっていけないのか、合併しなければならぬのではないかと不安に思っています。私は今後、政策に柔軟性を求め、有効な補助制度を活用し、無駄な出費を抑える事ができれば、十分に単独で行けると思っています。リーダーとして、町長の口から、今後のいろんな政策によって住民に希望を与

え、また不安を払拭し、是非、力強く公に『合併しない宣言』をしてください。
答弁 健全財政を維持しながら、誇りと自信を持ち、きめ細やかな血の通う行政を行い、町民に御理解をいただきながら、単独でやっていける自信が十分にあります。国において道州制が議論されておりますが、これは、国力を削ぐものであって大反対です。私が町長の職にある限り合併はいたしません、明言します。



もっと多くなるといい



山崎信義 議員

防災・減災について

基本的な施策は

質問 東日本大震災から2年国・県とあわせ本町も防災対策の見直しが行われております。漁港、漁船、養殖施設、水産加工場施設などに甚大な被害があり、復旧復興が進んでおりません。被災地の現状をどのように思い、また、この震災から学ぶべき本町としての基本的な施策をどのようにお考えですか。

防災訓練を通して意識の向上

答弁 甚大な被害を受け、早急な復興が求められますが、現状は進んでおりません。本町としては、防災訓練を通して、防災意識の向上と避難路などの整備を図っていきま

質問 昨年秋実施した防災訓練の参加者から出された意見や要望についてどのようにお考えですか、また、自主防災組織の組織率や活動について伺います。

避難しやすいよう整備

答弁 行政として指針を示し対応したい。また、自主防災組織率100%を目指すと共により避難しやすいよう整備も進めてまいります。

「釜石の奇跡」を生かそう

質問 災害から身を守るために防災教育で教えられた『避難三原則』によって、釜石市の小中学生が、津波から逃れ自らの命を守った「釜石の奇跡」として報道されましたがご存じですか。その三原則は①想定にとらわれるな②その状況下において、最善を尽くせ

③率先して、避難者たれ釜石中の生徒たちは、教えられたことを訓練通り実行したことを、どのようにお考えですか。

今後の防災活動に生かす

答弁 まさに、想定にとらわれず逃げるのが大切です。この『避難三原則』を、今後の防災活動に徹底してやっていきたい。

耐震化工事で減災を

質問 地震発生時に、自分自身の生命・財産を守るために住宅の安全性を高めることも大切です。本町では、木造住

宅の耐震診断費や改修工事費の補助金を予算計上しております。21年度からの決算や24年度の補正予算でも減額となっております。補助のあり方やPRなど工夫が必要と思えますがどのようにお考えですか。

一間でもいいから安全地帯を

答弁 実績が伸びていないのが実情です。一間でもいいから安全地帯にするよう、その場所を改修していただければという感はしています。今後とも、できるだけPRをしながら、理解をいただけるよう努力してまいります。



整備した避難道路（井鼻二荒神社）



三輪 正 議員

肺炎球菌ワクチン助成を

質問 高齢者の死因の上位を占める肺炎の予防に有効な、肺炎球菌ワクチン接種に助成すべきと考えます。

1回の費用は7,000円で高額のため、高齢者には負担が大きく、接種率が低い。1回の接種で5年間有効です。町民の健康保持のため、助成を考えるべきです。町長の考えを伺います。

実施に向け準備中

答弁 肺炎は日本人の死亡率の3位を占め、肺炎球菌が原因となる肺炎は全体の約3割と考えております。肺炎球菌は予防できるため、ワクチン接種が推奨されております。

接種料は6,800円、実施市町村の助成は大体、3,000円で個人負担が3,800円です。75歳以上の方に一回



この元気を続けられるために

の助成をしています。

当町でもワクチン接種の検討をしてみました。接種の管理が、非常に困難なため、実施できませんでした。今後、台帳管理方法など含めて、実施に向けて検討を進めてまいります。

交通弱者対策を

質問 高齢化や商店、医療機関が減少したことにより、交通手段を持たない人にとって、日常生活に大きな支障となっており。

町民(コミュニティ)バスやデマンドタクシー(予約乗り合い)など、当町の実情に合った交通手段を導入すべきと考えますが町の方針を伺います。

福祉タクシー券の

利用を

答弁 福祉巡回バス運行については以前にも質問をいただいております。バスの運行は近隣の利用状況の調査から、予想より利用率が低く、運営も大変厳しい状態です。当町として今は導入は考えておりません。また路線バス会社、タクシー会社も厳しい状況となっております。当町としては福祉タクシー制度の利用をもっと浸透させることが重要と考えております。

質問 現状ではバスの運行は非常に難しいとの答弁です



福祉タクシー券で乗れる

が、今後ますます交通弱者対策は重要性を増してきますので、今後ともこの問題を考えていきたいと思います。

町などの行事に交通の面で行けない人が多いと聞きます。町のマイクロバスなど使ってシャトルバスを極力運行してもらいたい。

答弁 行事などに送迎バスを運行しているが、乗車が一台に2〜3人の状態で、非常に疑問を感じております。原因を考えながら、今後対応してまいります。今後とも町民の方の交通について便宜を図っていく所存です。

高校生の通学費助成を

質問 当町において、中学校生徒の多くは卒業後に町外の

高校に進学され、当町の立地上、通学にはバスや電車を利用しなくてはならず、多くの費用が掛かります。例えば、出雲崎駅から柏崎駅間では年間約8万円、出雲崎車庫から長岡駅間では年間約16万円も掛かり、この他、塾や部活動にも掛かる費用は大きく家計に占める教育費の割合は膨らんでいます。そこで、町として家計の負担軽減の面から高校生の通学費の助成ができないものか町長の考えをお聞きします。

現段階では難しい

答弁 町としては、子育て支援について、0歳児の医療費の全額助成。また、1歳児から中学校卒業までの医療費助成は県の基準を上回り、更に、小中学校の入学祝い金など、義務教育課程においては他の町村を上回る支援を行っています。

高校生については町内や町外の高校に通われている方や、公立高校、私立高校などに通われたりと様々な進路が考えられる中で、行政としては公平性の観点から難しい課題があり、現段階では考えてはいません。奨学金制度もあるのです。そういったものも利用

して頂きたいと思います。

質問 公立高校の授業料無償化や私立高校の就学支援金制度により一定の負担軽減はあるものの、入学金や教科書代などはこれに含まれず、通学に掛かる交通費の方が高い現状もおきています。また、昨年行われた議会主催の出まえ

望は出されました。この現状を踏まえどう考えますか。

答弁 保護者の皆さんの気持ちは手に取るほど良く分かれますし、私も同じ気持ちであります。

子育ての段階でのご苦勞もありますが、現段階では難しいと考えます。

いと考えます。

質問 この様な制度を取り入れている他の自治体を見ますと一部助成である他に、期間や距離で区切り、助成を行っているところもあります。町の制度を見ましても義務教育までは、きめ細やかな制度であります。高校生になりますと、若干、その網から漏れてしまう事が懸念されます。定住促進の面からもこの様な施策を打ち出してPRを行い若者世代の定住促進につなげていけないものか伺います。

答弁 議員の気持ちも良く分かり同じ考え方ではあります。が、町において総合的な施策の中における公約数の中で、判断しなければならず、一つひとつ全てに應えるのは難しいので、現段階では考えていません。



仙海直樹 議員



教育費の負担軽減を

一次産業とまちづくり



田中 元 議員

質問 町長は施政方針の中で、5つの主要施策を、のべられました。その中で、3番目にのべられた、活気・活力に満ちた産業のまちづくりに於ては、第一次産業の農業、漁業、林業、畜産、酪農について、10項目にわたり方針をのべられました。生産者には、重厚な施策と思います。しかし、助成、補助、推進、強化拡大、継続という言葉が聞こえます。そこで町長におたずねします。第一次産業の後継者、担い手、新規青年就業者についての考えをお聞かせします。

持続可能な産業に

答弁 農林水産業が産業として、魅力ある産業へと発展するため、持続可能な産業にな

らなければならぬ、一町一村では難しく、国、県の対応も必要であります。そのために、人材育成に対する予算も

増加してきています。漁業においては、担い手も出てきていますので喜ばしいと思っています。



セリの様子（出雲崎漁港）

一次産業の6次化は

質問 最近では、一次産業、二次産業、三次産業を合せて6次産業化といわれており、農水産業の、生産する、獲る

だけでなく、生産者が加工し販売する6次化についての考えをお聞かせします。

農地法の大改正が必要

答弁 農林水産業を魅力あるものとするためには、小手先では無理があります。二次産業、三次産業が参入するためには、農業に於ては、終戦後にできた農地法を、現在の実態に合うよう大改正が必要と考えます。

現在の状況では二次、三次産業の参入が無理なため、おののが勉強し、小さなことから始め、続ける努力が必要です。漁業にも同じことが必要で、加工に対する工夫をすることが大切と考えております。



二次産業を育てたい（魚のひものなど）



諸
橋
和
史
議員

町未利用地活用は

質問 西越地区の中に、町の未利地があります。旧JA跡地と、八手地区の除雪基地の前にある広大な土地を遊ばせて管理だけしております。

町長の施政方針の中に、JA跡地については、委員会の提言を踏まえ、25年度に次のステップに進みたいとあります。八手地区の1.5haの未利用地については、一切の計画がありません。今後の活用方法を、お聞かせください。

今後活用方法を 進めてまいりたい

答弁 JA跡地の活用は、方針が決まりしだい、議会の皆さんと話し合い、駅前が賑わいを取り戻せるよう進めて参ります。八手地区の未利用地については、一部から話があると聞いています。今後活用方法を進めてまいります。



デイサービス前の未利用地（船橋地内）



TPP参加の影響は

国のTPP参加については

質問 町長は施政方針の中で、TPP協議参加に注視して参りたいとありましたが、安倍総理は、近いうちに協議に、参加しそうです。農業問題は勿論、TPPは人、物、金、サービスの自由化を目指すものです。今、日本は5千数百万の就業人口があります。その内3千200万人の正規雇用、非正規雇用は、1千800万人にもほるそうです。このまま進めば地元零細企業は、消滅しかねません。雇用にも大きくかわってきます。農業者減、商業者減、企業衰退となれば、人口減に

歯止がかからなくなります。総理は2%の物価上昇を目指すと言いますが、TPP参加後はデフレに逆もどりになると思います。町長はTPP参加について、どう考えておられるか、お聞きします。

TPPは反対

答弁 私も農業問題など、多岐に渡るゼロ関税には問題があると思います、TPP協議には反対します。アベノミクスについては、現在、円安、株高傾向にあり、成功していると思っております。今後も注視していきたいと思っております。

町民の声

子供達に支えられて

川西

小川 久美子

私は習字教室を始めて、早いもので30年が過ぎようとしています。長い間元気に続け



のおかげです。私は子供達への恩返しと思って、絵本の読み聞かせを始め、小学校で年に数回、読み聞かせを続けています。3月11日には6年生に、東日本大震災で、大津波をのりこえて生き残った「奇跡の本松」の本を読み聞かせ、担任の先生の御厚意により、6年生全員の感想文を届けていただき、一人一人の文章を読んでもいく内に、私は心があつくなりました。

「ああ！皆んな本の訴えたいことをしっかりと受けとめてくれていると……」

たった1冊の本、それを媒介として子供達の心に豊かな想像力、そして感動を届けることができたのだと、私は心から6年生の皆さんに感謝しました。

習字教室では社会に出てから恥をかかないようにと、ぬいだ靴を揃えるところから、言葉遣い、態度に注意を与えています。時には大声で叱ることもあります。

そんな日常のつきあいの中で、子供達が成長していく姿がみえます。

明るく純粹でまっすぐな子供達、おおいに羽ばたいてほしいとねがっています。

そして私の感銘したこの言葉を最後に記します。

「勉強は、自分が幸せになるためにするものなのです……」

表紙の小話



まちにまつた入学式、緊張しながらも、校長先生のお話に、しっかりと声で、答えている姿が頼もしく感じられました。式の中で新入生35人は、町の宝であると話しておられました。時代の流れとはいえ、農漁村からの人口の流出は止らず、子供も少なくなっています。昔のことをいってもしかたがありませんが、私の時は旧西越小学校、上校だけで100人以上の入学生でした。写真を見ると一割以上の友達が着物で出席しています。今の子供のような、カラフルな姿はありませんでした。戦後の厳しい社会状況では、あたりまえのことですが、懐しく思いだされました。新入生が成人になった時に、全員が雲崎に住んでもらえるような、まちづくりをしなければならぬと、強く感じます。また、一人ひとりが、明るく、元気で、勉強に遊びに頑張る子供に成長することを願った入学式でした。(田中 元)

編集後記

議員として4年の任期が終ろうとしています。議会だよりも今回号が私達委員の最後となります。3月定例会に於て懸案の、出雲崎町議会基本条例の制定という大きな仕事を成遂げることができました。

議会、議員として町民に開かれた議会、町民と共に歩む議員としての心構えを盛りこんだ条例です。これからも、質の高い議会、議員として、努力、研鑽していくための条例制定でもあります。

ただ残念なことは、議会だより編集委員として尽力された小林議員の訃報、議会だより、基本条例に一生懸命助言や手伝いをしてくれた遠藤書記の訃報があります。私達編集委員だけでなく、議員全員で、このことを無にしないよう、努力しなければなりません。

6月からは新しい議員構成の中で、新しい編集員による議会だよりの発行されることをたのしみにし、最後の編集後記とします。(田中 元)

発行/出雲崎町議会 責任者/議長 中野勝正 編集/議会報特別委員会 〒949-4392 新潟県三島郡出雲崎町大字川西140番地 TEL.0258 (78) 3112 FAX.0258 (41) 7322